

6月定例議会

近年最小の補正予算 9900万円

党議員団は、くらしを守る立場で積極提案

**日本共産党
静岡市議会議員団
ニュース**

2010-No.4

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcps.jp/
メール yksf5@jcps.jp

6月定例会会議日程

- 会期 6/15～7/6(22日間)
会場 静岡庁舎本館
- 本会議 6/15(火) 午前10時より
 - 総括質問[3日間] 午前10時より
6/24(木)、25(金)、28(月)
 - 常任委員会
6/29(火) 午前10時より
総務委員会、上下水道教育委員会、生活文化環境委員会
 - 6/30(水) 午前10時より
厚生委員会、経済消防委員会、都市建設委員会
 - 本会議 7/6(火) 午前10時より

6月定例市議会が15日にはじまりました。会期は7月6日までの22日間です。

議案の主なものは、補正予算案では、来園者がほぼ2倍に増えている動物園の警備員10人を緊急雇用創出事業として雇うために400万円、子ども手当での支給対象とならない児童への特別支援事業として2100万円、自殺対策事業に300万円、羽衣の松世代交代事業に500万円、県果樹研究センター誘致事業に200万円など、合計9900万円となり近年最小の補正予算額となっています。

他議案では、市営住宅家賃や市立病院医療費などで居所不明・消滅時効によって80件150万円の私債権を放棄する議案、待機児童園条例制定、市税条例改正など、103議案です。日本共産党市議団は全員、市民要求や市政課題について総括質問をする予定です。



市障害者協会と懇談

市障害者協会は、身体、精神、知的の3障害の交流連携、相談、支援活動を行う団体です。懇談では、「障害のあることがわかった後、早期の支援策の重要性」や「障害者が地域で自立できるような、ケアハウスの充実」などの要望が出されました。これからの施策の拡充と財政確保のためのとりくみを強めていきます。



「市民に開かれた議会運営を」議長に申し入れ

地方議会の民主的運営と活性化は住民自治の要です。会派に支給される政務調査費に関し、市民から行政訴訟がおこされるなど、厳しい目が向けられています。党議員団は、総括質問時間の拡充など議会運営と政務調査費の使途の透明性を求め、議長に要請しました。

議長は、「各会派に働きかけ検討したい」と答えました。市民にひらかれた議会への改革が求められています。



本会議での質問

日時 6月24日～28日 午前10時より
(6月24日のみ午前10時30分より)
会場 静岡市庁舎・本会議場



山本明久 議員

- 東静岡地区多目的アリーナ建設問題について
- 水道施設の耐震化対策について



内田りゆうすけ 議員

- 市税滞納問題について



寺尾あきら 議員

- 平和行政について
- 「地域主権」について



鈴木せつ子 議員

- 国保行政について
- 難病対策について
- 子宮頸がん予防ワクチンについて

※詳しい日時は事務局にお問い合わせ下さい。